

＜日本行動分析学会・自主公開講座＞

行動分析学でズバッと解決！（超・入門編）
－ 子育てや組織の「問題あるある」攻略法 －

講座1：島宗 理 先生

講座2：奥田健次 先生



日 時：2018年8月26日(日) 12:30～15:30

場 所：同志社大学今出川キャンパス良心館

定 員：200名（申込先着順）

参加費：3,000円（年次大会参加者は1,000円の割引）

お申込：以下の「申込フォーム」にてお申込ください

<https://goo.gl/forms/b46aVXC3jtt3PeD53>

お問合せ先：tamuto@mail.doshisha.ac.jp(武藤崇)

<日本行動分析学会・自主公開講座>

行動分析学でズバッと解決！ (超・入門編) － 子育てや組織の「問題あるある」攻略法 －

講座1 (12:30-13:50) : 島宗 理 先生 (法政大学)

演題 : 組織で行動分析学を役立てるためのデザイン思考

概要 : 行動分析学と出会い、学び、仕事や自らの生活に活用して一旦成功を体験すると、次は同じ成功体験を他の人とわかちあいたくなるのが人情である。かくして、学校や会社などで仕事に行動分析学を役立てようと、同僚や部下、上司まで巻き込まんとした闘いの幕が切って落とされる。ところが、恋は盲目というように、元々不利な戦いであることに本人はなかなか気づくことができない。

「こんなに素晴らしいものなのに、どうしてわかってもらえないのだろう」と嘆き、悲しみ、失望して、個人攻撃の罠にはまり、疲弊していく。実は、これ、行動分析学に限ったことではない。組織変革にはよくあることで、「組織あるある」と言ってもよいだろう。この公開講座では、勝ち目のない闘いにつながる落とし穴とその回避方法、そして組織で行動分析学を役立てるために有効なデザイン思考と戦術を紹介する。

参加者の条件 : 誰でも参加可能。

講座2 (14:10-15:30) : 奥田健次 先生 (行動コーチングアカデミー)

演題 : 子育てあるある悪循環-悪循環を断ち切り、好循環を生み出すために-

概要 : 障害のあるなしに関わらず、すべての子どもの子育てにおいて幼児期にみられる困り事を行動分析学の観点から検討すると、必ずと言ってよいほど悪循環が生じている。「子育てあるある」である。それは当然のことである。行動は相互作用によって増えたり減ったりしているのだから、子どもの行動問題だけが増えているわけではない。行動問題を減らそうとして、かえって子どもの行動を増やしてしまうような関わり方を大人がしているのに無自覚でいると、悪循環はますます問題を大きくし、強い習慣として残してしまうものである。たとえば「泣き言を言う」子ども、それを「励ます」大人。大人の願いは「泣き言をすぐに言わないようになってほしい」というものであるが、大人の励ましによって泣き言を言うような言動が長く維持し、問題を複雑化し、習慣化してしまう。この公開講座では、幼児期によくある子育ての悩みを事例として取り上げて、悪循環を断ち切るためのアイデアを紹介する。

参加者の条件 : 保護者だけでなく、幼児教育、保育・福祉現場の職員、子育てに関わる専門職を問わず、誰でも参加可能。ただし、高校生以上。